

「虎ンブ」 「トラのシッポ」の踏み絵

先号にも書きましたが、中国と冷戦中のトランプ大統領は「アメリカをとるか？中国をとるか？」よく考えろと、いわんばかりの「踏み絵」を提起しています。

「米中冷戦」が囁かれているときにアメリカの同盟国の日本が敵対する中国へわざわざ財界人を500人も引き連れての訪中です。

「人たらし」の晋三首相は習近平主席に「1年に2回は来日してくれ」と要請した模様です。

「シンゾー オレノシッポ」から足をどける、トランプ大統領から言われてからでは遅すぎます。

「親中のメルケル来日」、「親中のマクロンのルノー・日産・三菱問題」に続いて

中国の習近平への「1年に2回は来日してくれ」の要請。

トランプ大統領が「日本は一体どうなっているのか？」と「同盟国日本」へ疑義を持たないでしょうか？

トランプ大統領は「韓国も日本も信用できないウラギリモノ」とツイートするかもしれません。

天皇陛下の政治利用は厳禁ですが、「人たらし晋三」が習近平を日本に招けば、民主党幹事長の剛腕小沢一郎がごり押しで習近平を天皇陛下に面会強要したことはおなじことをしなければならなくなるでしょう。

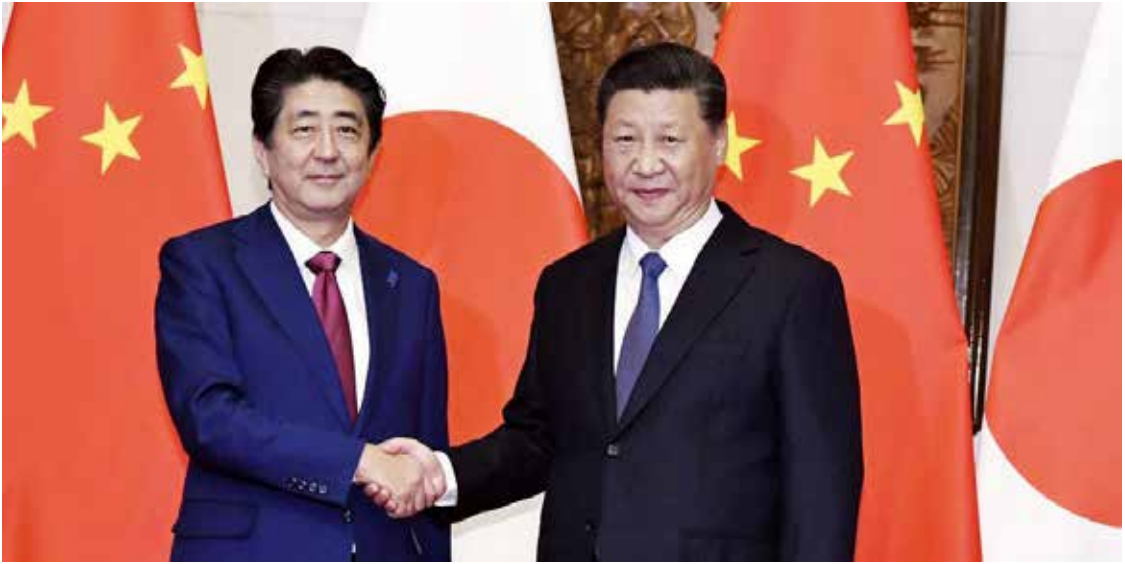
経済評論家の上念司氏は彼一流のサラッと軽妙な表現で解説をしていました。



アメリカ合衆国 トランプ大統領



経済評論家 上念 司 氏



安倍晋三首相(左)と中国の習近平国家主席(2018年10月)

でもきっと本人も一抹の不安を感じていたに違いありません。日本の財界人は「米中が冷戦状態」であるということを理解していません。

中国のサイドに立つと思われたら『トランプの制裁』は日本にもやってきます。

しかし、まだこの期に及んでも中国で甘い汁が吸いたいのか「財界人の欲ボケ」は恐いねえ。

「内部留保をやめて」景気よく「賃金アップ」「ボーナス出し放題」にきなさい。安倍政権の応援くらいしろよな。また民主党の残留組に政権盗られるよ。

一社づつ狙い撃ちするしかないかなあ。

安倍晋三首相が中国の李克強首相に乞われて2018年10月に日本円と中国元のスワップ協定を5年ぶりに復活させました。協定の規模は2000億円(3兆4000億円)規模で、有効期限は

3年間。まあこれは中国に進出している邦人企業が三菱UFJ銀行や三井住友銀行の中国支店から日本円を入手しやすいようにという配慮でしょうか？

しかし、日本の財界人も「ポーっと生きてんじゃないよ」(チコ)

